

令和4年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

栃木県

行事名称	嘉右衛門町伝建地区総合防災訓練
実施期間・日時	令和5年1月22日(日) 8:30~11:00
実施場所	栃木市嘉右衛門町地内(嘉右衛門町2-11地先 嘉右衛門町伝建地区拠点施設)ほか
主催者	栃木市地域振興部蔵の街課

■実施内容

訓練の想定

栃木市嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区内の店舗より出火、地域住民が119番通報し消防署、消防団が連携し放水、消火活動を行う想定。

訓練の内容

地域住民により火災発見し通報、消防署による消防車搭載放水銃の放水訓練、消防団による水幕ホースによる延焼防止訓練を実施。その後、住民による初期消火(D級可搬ポンプ、水消火器)訓練を実施。

参加者及び役割分担

自主防災会(嘉右衛門町、大町、泉町) (40人): 119番通報、消火器取扱訓練
 栃木市 (9人): 全体統括、講評
 栃木市消防本部、栃木市消防署 (12人): 自主防災会への指導、安全管理、放水訓練
 栃木市消防団 (12人): 放水訓練

特に工夫した点

伝建地区に設置されているD級可搬ポンプを使用、防火井戸から揚水し放水するまでを地域住民とともに訓練を行った。また、防災器具取扱業者によるD級可搬ポンプの設備点検を実施し有事の際に不備がないようにした。
 コロナ対策で、訓練参加者は検温、手指消毒、マスクを着用し訓練を実施した。

問題点・課題

訓練参加者は高齢者が多数であるため、若い人の訓練参加を促すための工夫が必要である。
 年間複数回の訓練実施が望ましい。

その他

毎年文化財防火デーにあわせて防災訓練を行うことで、地域住民や地元消防団の文化財保護意識の強化を図り、防災の必要性を確認する機会となっているため、今後も継続して実施していくことが重要である。

訓練風景



令和 4 年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

栃木県

行事名称	第 6 9 回文化財防火デーに伴う消防訓練
実施期間・日時	令和 5 年 1 月 2 2 日 (日) 9 : 0 0 ~ 1 0 : 3 0
実施場所	旧栗野中学校校舎 (栃木県鹿沼市口栗野 1 8 1 2)
主催者	鹿沼市消防署

■実施内容

訓練の想定

午前 9 時頃、国登録有形文化財旧栗野中学校校舎付近の枯れ草から出火、折からの強風により旧校舎に延焼する恐れがあると想定。

訓練の内容

火災発見、通報の実施。消防署、消防団による放水訓練を実施。

参加者及び役割分担

鹿沼市消防本部、消防署 (32名) : 全体統括、放水訓練、119番通報

鹿沼市消防団 (27名) : 放水訓練

鹿沼市市長、鹿沼市市議会議員 (4名) : 講評、現場立会い

特に工夫した点

コロナ対策で訓練参加人員を制限し、訓練参加者はマスクの着用と手信号を活用し、訓練を実施した。

問題点・課題

旧校舎で常勤者がいないため、定期的に除草などの建物周辺の維持管理を実施し、消火活動が迅速に行うことができる状況を維持することが課題。

その他

文化財防火デーにあわせて消防訓練を行うことで、消防署と消防団の連携を図るとともに、地元消防団や地区住民の防災の必要性を確認する機会となっており、今後も継続して実施することが重要。

訓練風景

